



小松ウォール工業株式会社 | 東証プライム 7949

2025年3月期 決算補足資料

2025年4月28日

■ 2025年3月期 決算概要	-----	3
■ 2026年3月期 業績予想	-----	9

2025年3月期実績

- オフィスのリニューアル用途が堅調、売上高は2.4%増収。品目別では可動間仕切、軽量ドア等が増収
- 増収により売上総利益は6.9%増益となったが、ショールームの拡張などに伴う賃借料の増加や物流費の上昇等で営業利益は前期並み
- 1-3月期に限れば、売上高は6.3%増収、営業利益は65.0%増益と好調。期末の受注残は可動間仕切が30.3%増加するなど、全体では13.3%の増加

2026年3月期予想

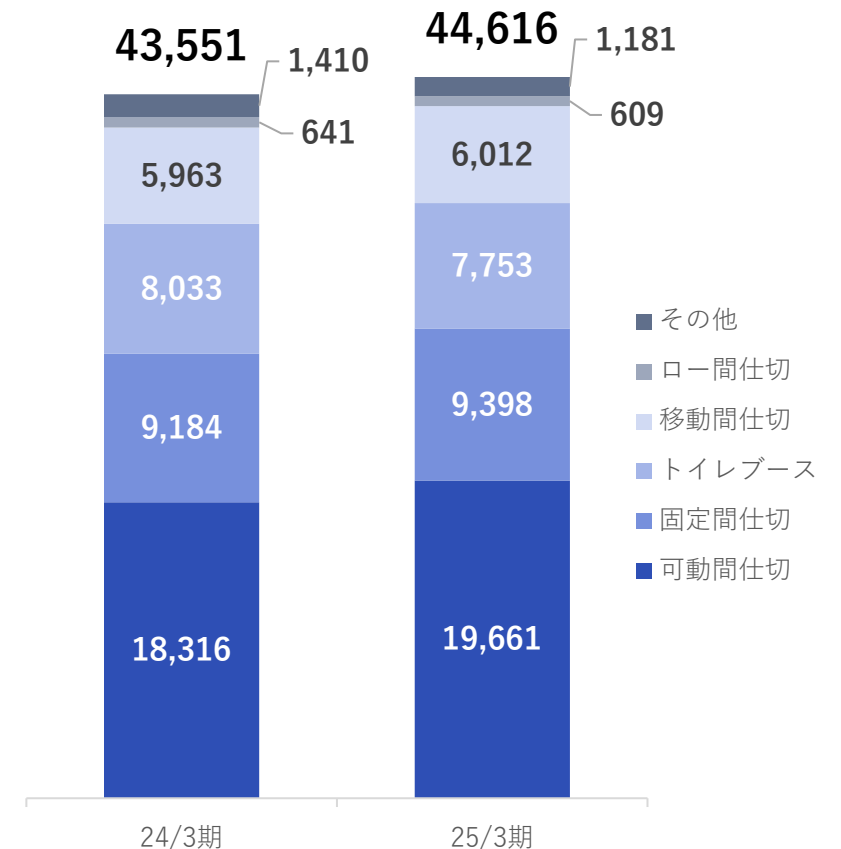
- オフィス向けが引き続き堅調に推移、売上高は4.2%増収を予想。デザイン性に優れた製品をオフィス向けだけでなく、トイレブースや学校向けでも発売。資材価格や物流費の大幅な上昇は一巡、営業利益も11.7%増益を予想
- 景気悪化に伴う企業の設備投資やオフィスリニューアルの先送りなどのリスクはあるが、新製品の発売などにより通期予想の達成を目指す

株主還元

- 2025年3月期は純資産配当率（DOE）3.0%を上回る65円（分割後）の配当を計画
- 2026年3月期から株主還元方針を変更し、純資産配当率（DOE）6%を目安とした配当へ引き上げ、前期比2倍の130円へ増配を予想

売上高

（百万円）



2025年3月期 決算補足資料

2025年3月期 決算概要

決算概要



- オフィス向けが好調で売上高は前期比2.4%増収、従来予想比では福祉・厚生施設向け等が減収となり3.0%の未達
- 高付加価値製品の販売が増加し、売上総利益は6.9%増益となったが、賃借料や物流費の増加により、営業利益は前期並み
- 2025年1-3月期に限れば、オフィス向けの好調に加え、文化施設向けも増収となり、売上高は6.3%増収、営業利益は65.0%増益

単位：百万円	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期従来予想 (24年4月時点)		2025年3月期実績		前期比 増減率	予想比 増減率
売上高	37,772	100%	43,551	100%	46,000	100%	44,616	100%	2.4%	△3.0%
営業利益	2,306	6.1%	3,640	8.4%	3,800	8.3%	3,635	8.1%	△0.1%	△4.3%
経常利益	2,363	6.3%	3,732	8.6%	3,850	8.4%	3,756	8.4%	0.6%	△2.4%
当期純利益	1,627	4.3%	2,775	6.4%	2,850	6.2%	2,650	5.9%	△4.5%	△7.0%
1株当たり 当期純利益	87円64銭		149円04銭		153円03銭*		145円64銭*		△2.3%	△4.8%
1株当たり 配当金	47円50銭		62円50銭		65円00銭**		65円00銭**		4.0%	—

* 2024年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施。1株当たり当期純利益は分割後の株数で算出、過去実績も遡及修正

** 2025年3月期の配当は期初に株式分割があったものとして算出、過去実績も遡及修正

品目別売上高



- 可動間仕切はオフィスや学校・工場向けが好調、軽量ドアなどの固定間仕切もオフィスや文化施設向けが堅調に推移
- 受注残はその他を除いた全品目で増加、オフィスや学校・文化施設などが引き続き堅調で、可動間仕切と固定間仕切は2桁の増加

単位：百万円	2024年3月期	2025年3月期					
	実績	実績	前期比増減率	受注高	前期比増減率	受注残高	前期比増減率
売上高	43,551	44,616	2.4%	46,833	7.2%	18,897	13.3%
└ 可動間仕切	18,316	19,661	7.3%	20,891	15.0%	5,283	30.3%
└ 固定間仕切	9,184	9,398	2.3%	9,989	0.9%	5,615	11.8%
└ トイレブース	8,033	7,753	△3.5%	8,059	0.2%	3,444	9.8%
└ 移動間仕切	5,963	6,012	0.8%	6,120	8.8%	4,164	2.7%
└ ロー間仕切	641	609	△4.9%	628	0.9%	85	27.1%
└ その他	1,410	1,181	△16.2%	1,145	△13.2%	303	△10.7%

■ 増配や自己株式取得など株主還元強化により、現預金と純資産が減少。自己資本比率は80.8%と引き続き高い財務安全性を維持

単位：百万円	2023年3月期末	2024年3月期末	2025年3月期末	前期末差
流動資産	29,999	32,539	31,322	△1,217
現預金	15,579	17,640	16,714	△926
売上債権・契約資産	13,181	13,615	13,231	△384
棚卸資産	1,023	1,123	1,117	△6
固定資産	14,760	14,915	15,433	518
有形固定資産	11,922	11,767	12,260	493
無形固定資産	420	385	415	30
投資その他の資産	2,418	2,763	2,757	△6
総資産	44,760	47,455	46,756	△699
負債	8,535	9,388	8,965	△423
買掛金	2,345	2,350	2,323	△27
有利子負債	0	0	0	0
純資産	36,225	38,067	37,790	△277
負債純資産合計	44,760	47,455	46,756	△699

キャッシュ・フロー計算書



■ 経常増益や売上債権の減少等により営業キャッシュ・フローは3,327百万円、フリーキャッシュフローも2,858百万円のプラス

■ 増配に伴い配当金の支払額は増加したが、定期預金の払戻等により期末現預金は13,649百万円と前期並み

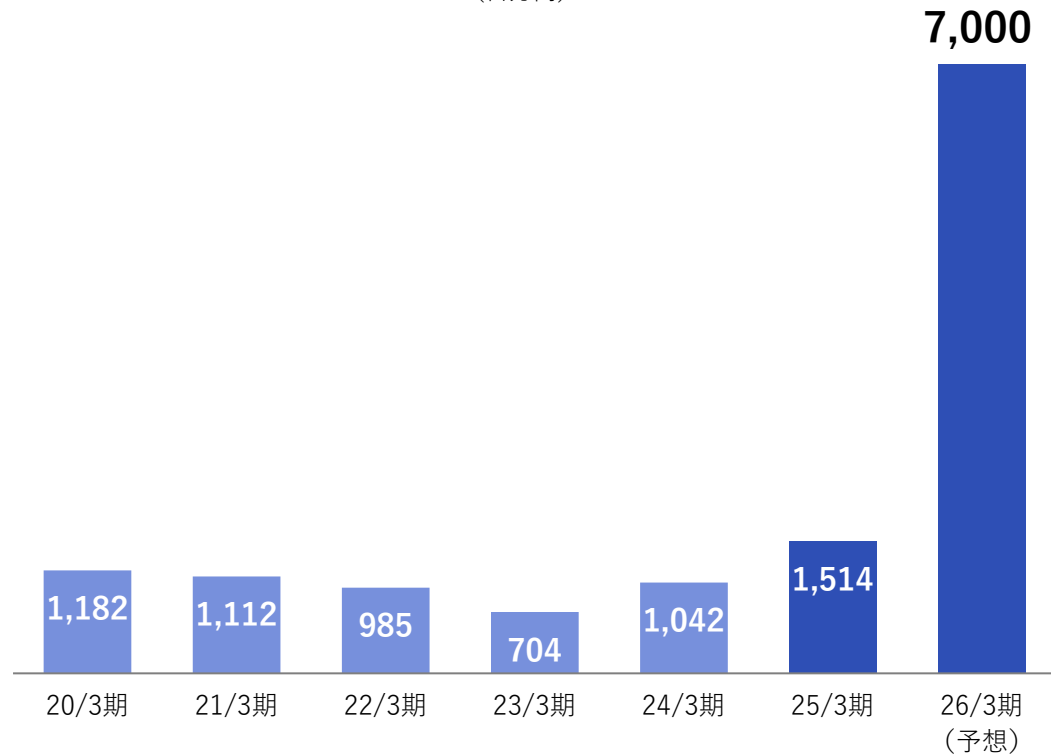
単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	前期差
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,676	4,273	3,327	△946
税引前当期純利益	2,446	3,744	3,802	58
減価償却費	1,073	1,127	1,160	33
売上債権の増減額（△は増加）	△2,064	△434	383	817
棚卸資産の増減額（△は増加）	△204	△99	5	104
仕入債務の増減額（△は減少）	389	4	△26	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△636	△1,171	△469	702
有形固定資産の取得による支出	△583	△916	△1,323	△407
定期預金の預入・払戻による支出入	0	0	1,000	1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△810	△1,056	△2,729	△1,673
配当金の支払額	△804	△1,041	△1,229	△188
自己株式の取得・売却による支出入	-	△0	△1,485	△1,485
現金及び現金同等物の期末残高	11,476	13,521	13,649	128
フリーキャッシュ・フロー	1,040	3,102	2,858	△244

設備投資、減価償却費

- 2025年3月期は東京や大阪ショールームへの投資や既存機械設備の維持更新等で1,514百万円の設備投資を実施
- 2026年3月期は加賀工場2号棟建設、名古屋ショールームへの投資等で7,000百万円の設備投資を計画

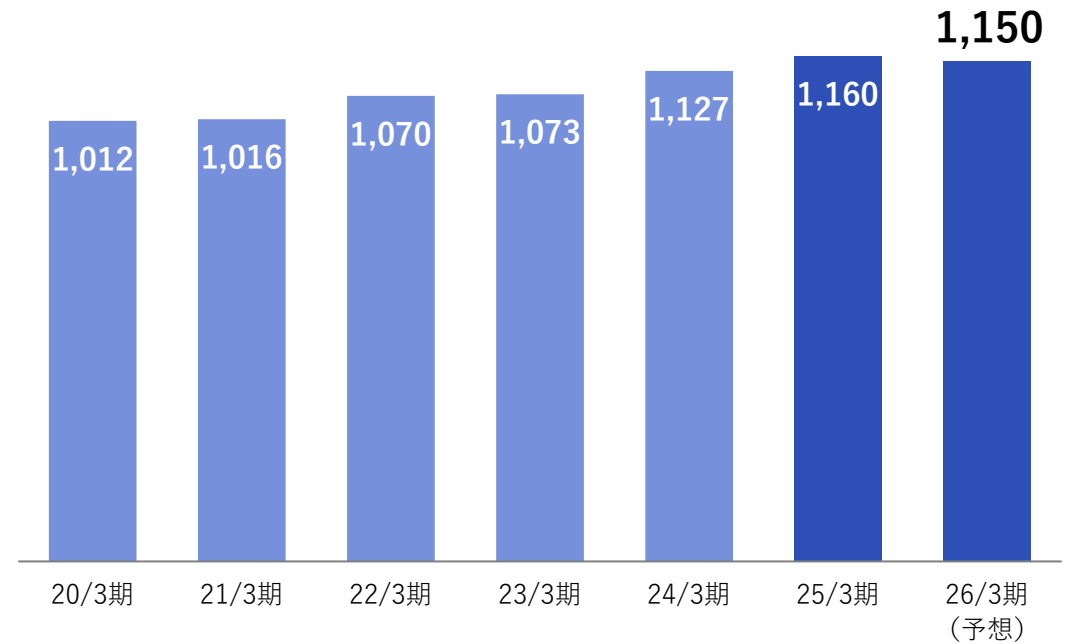
設備投資

(百万円)



減価償却費

(百万円)



2025年3月期 決算補足資料

2026年3月期 業績予想

- オフィスのリニューアル需要が引き続き好調、トイレブースや学校向けでもデザイン性に優れた新商品を発売することから、売上高は前期比4.2%増収を予想。資材価格や運送費の大幅な上昇は一巡しており、増収を主因に営業利益は11.7%増益を予想
- 配当方針を純資産配当率（DOE）3%から6%水準に変更、2026年3月期の配当は前期比倍増の130円を予想

単位：百万円					2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期 通期予想		前期比 増減率
売上高					43,551	100%	44,616	100%	46,500	100%	4.2%
営業利益					3,640	8.4%	3,635	8.1%	4,060	8.7%	11.7%
経常利益					3,732	8.6%	3,756	8.4%	4,130	8.9%	10.0%
当期純利益					2,775	6.4%	2,650	5.9%	2,930	6.3%	10.5%
1 当	株 期	当 純	た 利	り 益	149円04銭		145円64銭*		160円97銭		10.5%
1 配	株	当 当	た	り 金	62円50銭		65円00銭**		130円00銭		100.0%

* 2024年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施。1株当たり当期純利益は分割後の株数で算出、過去実績も遡及修正
** 2025年3月期の配当は株式分割後の株数で算出、過去実績も遡及修正

四半期業績推移

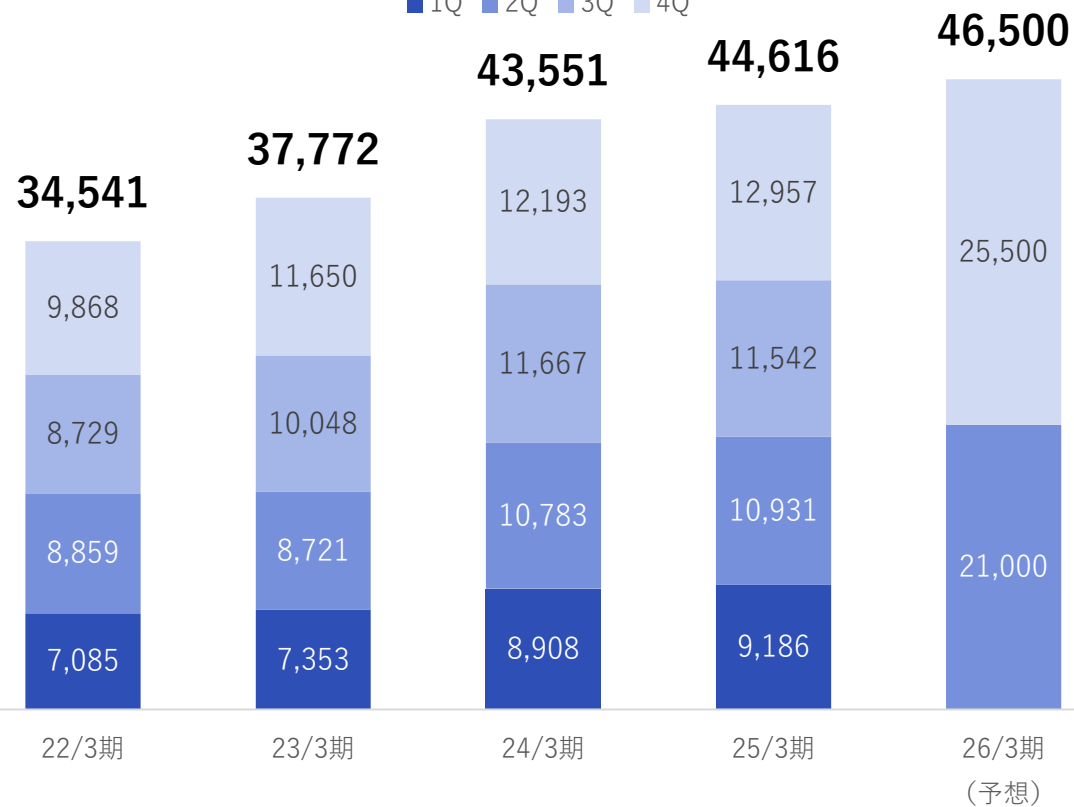
■ 2025年1-3月期の売上高はオフィス向けの好調などから6.3%増収、営業利益は人件費や物流コスト上昇等を吸収し65.0%増益

■ 2026年3月期もオフィス向けの好調が続くことを主因に増収を予想、資材価格や物流費の大幅な上昇も一巡しており、営業増益を予想

四半期売上高

(百万円)

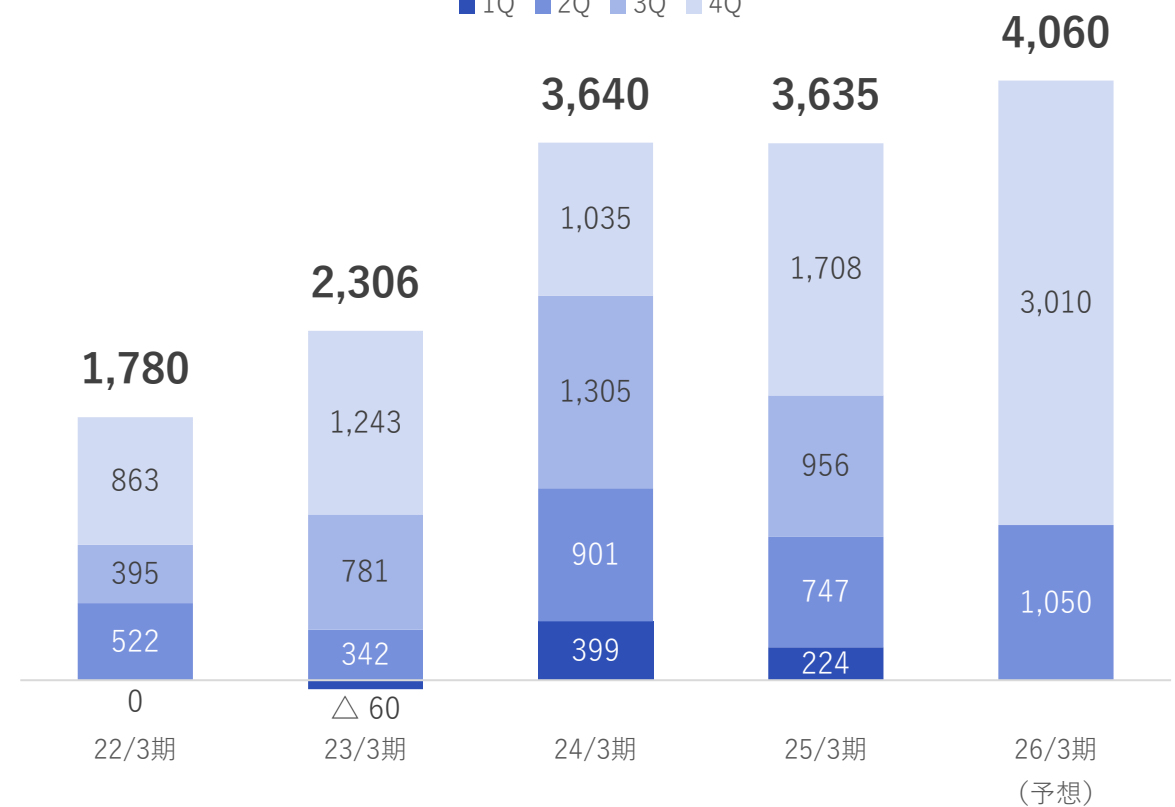
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



四半期営業利益

(百万円)

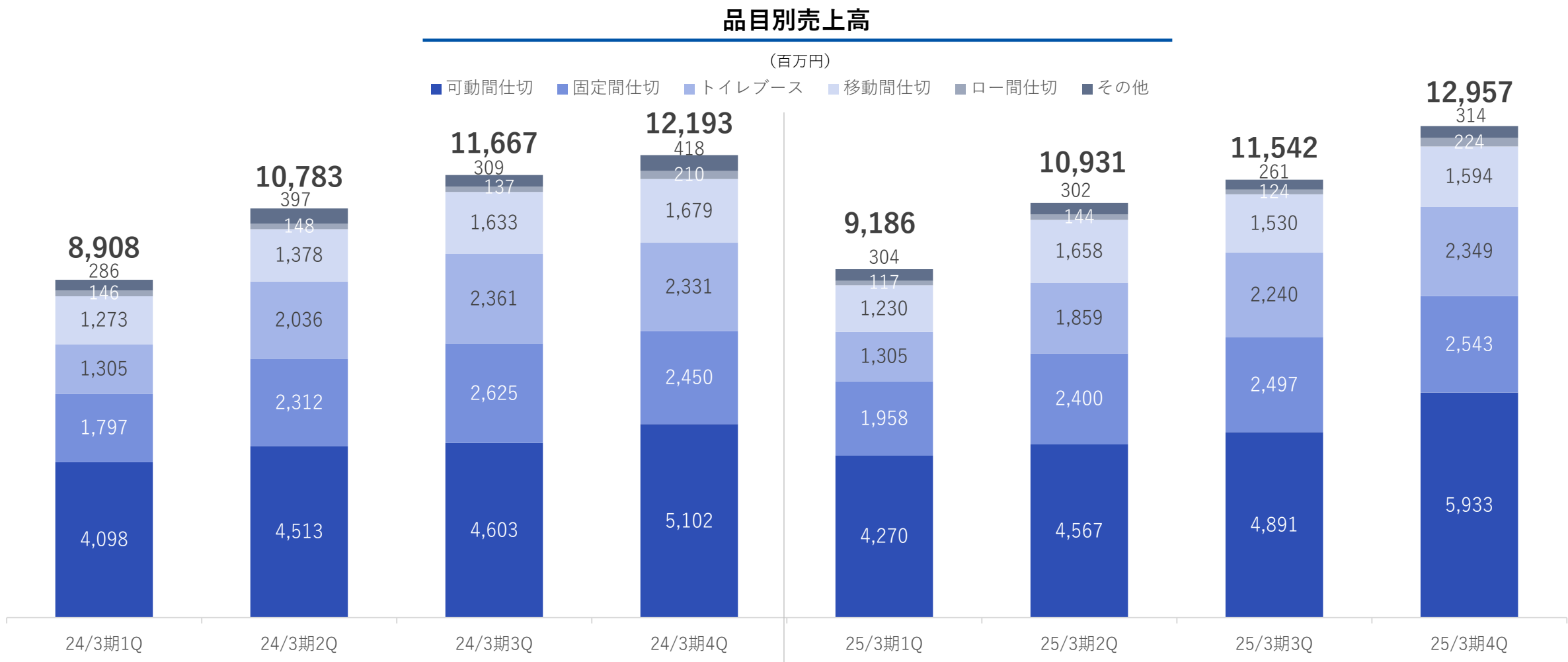
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



四半期品目別売上高推移



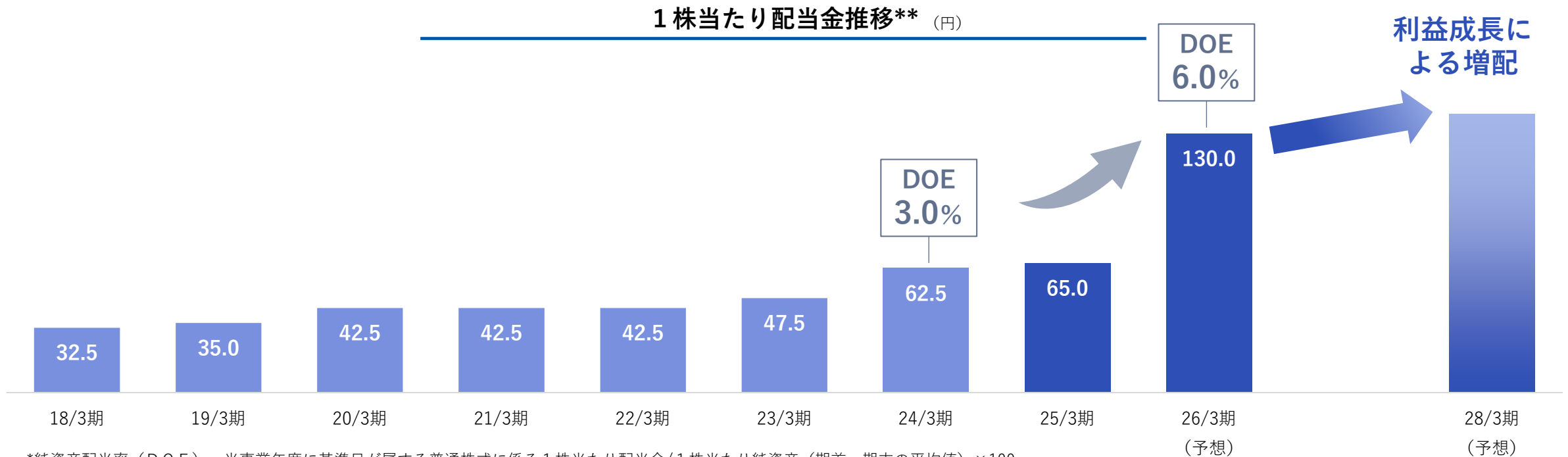
■ 2025年1-3期はオフィス向け中心に可動間仕切が好調に推移、固定間仕切やトイレブース、ロー間仕切も堅調に推移



株主還元方針の変更（増配）

- 2026年3月期から株主還元方針を変更し、純資産配当率（DOE）6%を目安とした配当へ引き上げ。なお、23年4月にはDOE3.0%下限に変更
- 上記方針に基づき、2026年3月期は前期比2倍の130円への増配を計画

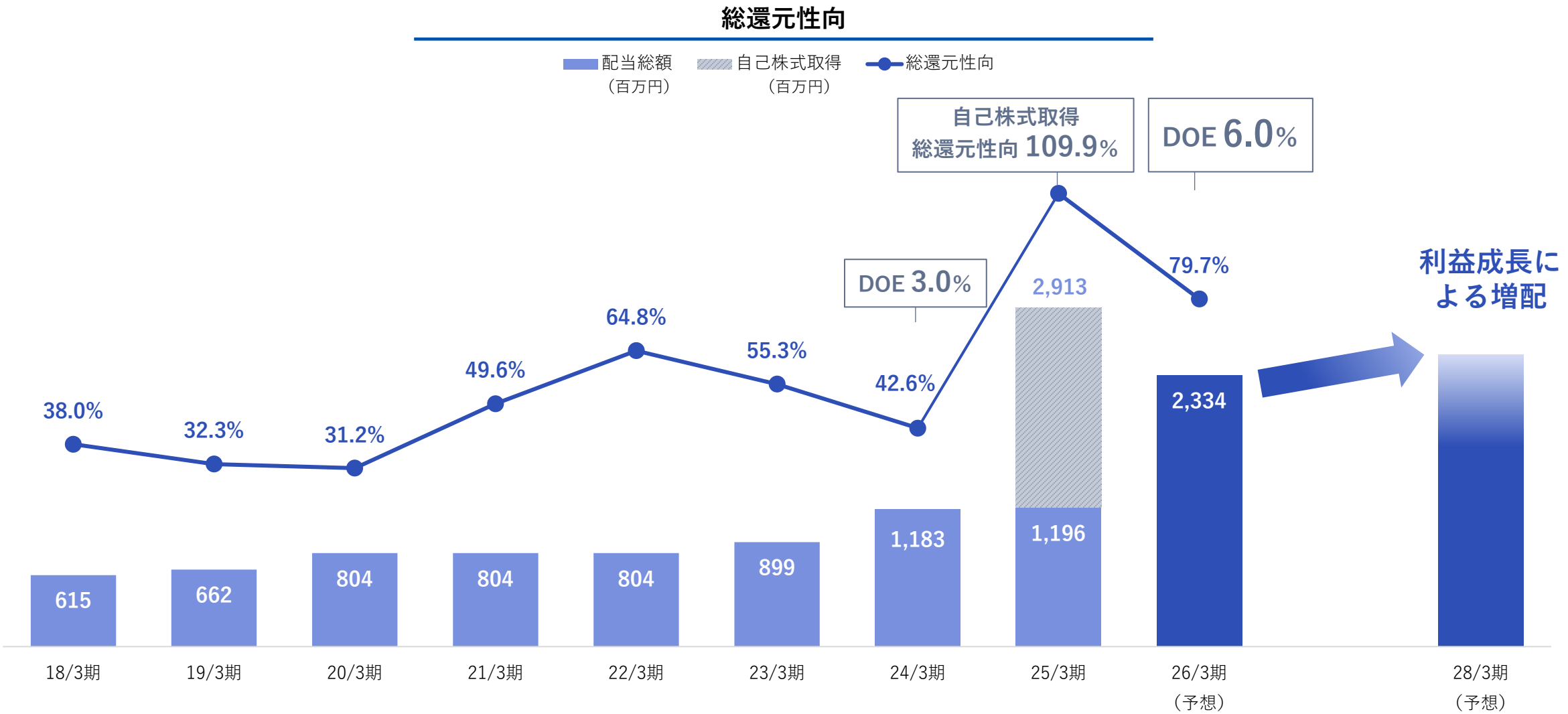
純資産配当率*（DOE）6%を目安とした配当を実施
持続的な成長も実現し、配当水準の安定的向上を目指す



*純資産配当率（DOE）＝当事業年度に基準日が属する普通株式に係る1株当たり配当金/1株当たり純資産（期首・期末の平均値）×100

**2024年10月1日付で1：2の株式分割を実施。過年度の配当金は株式分割後の株数での配当金に遡及修正

■ 2026年3月期は大幅増配を実施予定、高水準の株主還元を継続することで適正な純資産を維持し、ROEの上昇につなげる





小松ウォール工業株式会社 | 東証プライム 7949

お問合せ先

小松ウォール工業株式会社
社長室

TEL 0761-21-3131(代表)

https://www.komatsuwall.co.jp/form/form.php?form_id=201

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。